

坂越（千種川流域）地区 歴史文化の視点1

# 17. 古代の謎

## 【ストーリー】

高野から南野中にかけては、様々な謎が残されている。

高野の平野は非常に広く、古代から集落が営まれてきたと推定されるが、今のところ、ムラの痕跡は見つかっていない。ただ千種川からは、当時としては全国最大の弥生時代の銅鐸鑄型や、完全な形の土器が発見され、また隣接する高取山古墳群には、市内でも珍しい積石塚古墳があるなど、

特異なものが目を引く。さらに高伏山古墳群にいたっては、標高約 250m の山頂に古墳が築かれており、なぜこのような高い場所に築かれたのかは不明である。

これら群集墳の存在、及び河川から発見された遺物については、上流から流出してきたことなどが推測されているが、今なお事実が解明されていない。

